



港区立高松中学校 学校だより<第5号>

令和5年10月20日 校長 中山 幸子

創立1949年(昭和24年)

<高松中生のあたりまえ>推進校

港区高輪1-16-25

ここに突き刺さるアニメソング

秋が深まってきました。校舎内では合唱コンクールに向けて授業に関係なく歌声が響くようになりました。先日の全校朝礼で音楽科の給田先生が「頑張っている人を応援します」と伝えてくれたように、各自ができるだけの練習をして、当日を迎えてくれると思います。

さて、今回のテーマはアニメソングです。深い意味をもつというこの有名なアニメソングの歌詞を、2つの質問に変えてきますので、教えてください。

「なんのために生まれて なにをして生きるのか」

さあ、あなたならどう答えますか？

そして、もうひとつの質問は……

「なにが君の しあわせ なにをして よろこぶ」

じっくり考える人、すぐに答えが出てきた人、様々だと思います。

おわかりのように、この問いかけには次の歌詞が続きます。

こたえられないなんて そんなのは いやだ！

わからないまま おわる そんなのは いやだ！

いやだ！と強い思いがあるのは、作詞した やなせたかしさんが日中戦争に出征した経験があり、特攻隊員となった弟を戦争で亡くしている背景があると考えられています。飢えの苦しみを知っているからこそ、アンパンを配る、戦争の悲しい体験を踏まえ、弟への愛といのちの尊さを表現したとも言われています。

また、戦争は価値観を変えました。正義とは何か、**愛と勇気だけが ともだちさ** から

いつの時代でも変わらない**愛と勇気**こそが、正義ではないかという結論に至ったのではないかと捉える人もいます。

アンパンマンの原作者の歌詞に込められた思いは決して軽いものではありませんが、アンパンマンのマーチは歌っても、歌詞を読んでも前向きな気持ちになれます。

なぜ生きるのか、どう生きていくかを問われたときに、『うまく言えないかもしれないけれど、自分はこう思う』と説明できる自分でありたいと思います。みなさんなら、どう答えますか？

歌詞の引用資料「アンパンマンのマーチ」：テレビアニメ『それいけ!アンパンマン』のオープニング主題歌

作詞は原作者でもある、やなせたかし氏 作曲は三木たかし氏